

備前市事務事業評価表

(平成17年度事業)

事務事業名	災害復旧事業(吉永)		コード	担当課	吉永総合支所産業建設課管理係
			01-03-01-08	担当者	吉田正人
事業実施期間			電話	84-2513	
総合計画 事業(政策)体系	大項目	安全で快適に暮らせるまちづくり			
	中項目	災害に強いまちづくり			
	小項目	河川改修・砂防施設整備			
	施策	市管理河川の改修整備			

事業について	
目的	平成15年・16年の台風の豪雨により被災した箇所の復旧。
対象(誰のために)	周辺及び下流域住民
内容	吉永地域内73箇所の復旧。内48箇所は前年度からの繰越。残りの内4箇所は次年度へ繰り越した。

事業の結果	17年度		
実施項目	回数など(単位)	回数など(単位)	回数など(単位)
前年度からの繰越箇所	48箇所		
現年度実施箇所	21箇所		
次年度への繰越箇所	4箇所		

事業費 (単位:千円)	事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	151,646	国庫補助金等	87,422	直接事業費		国庫補助金等	
	人件費	3,965	受益者負担		人件費		受益者負担	
	合計	155,611	一般財源等	68,189	合計	0	一般財源等	0

必要人員	0.60	人		人
結果指標名	復旧箇所			
結果指標量	69			
単位	箇所			
対前年比	—			
事業費	155,611,000	円		円
単当たりコスト①	2,255,232	円		円

結果指標名	復旧箇所			
結果指標量	69			
単位	箇所			
対前年比	—			
事業費		円		円
単当たりコスト②		円		円

事業の成果			
成果指標名	復旧率	式又は説明	復旧箇所/復旧必要箇所
成果指標量	17年度		
対前年比	94.5	0.00%	
到達目標値	100	到達目標年度	平成18年度

事務事業の評価		課題認識
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	市の管理施設については早急に実施する必要がある。
	対象の妥当性	
	市民ニーズの妥当性	
効率性の評価	市民ニーズの妥当性	工事費については国庫の基準に基づいて実施されるためコスト削減は困難な面がある。
	市の関与の妥当性	
	コストの効率化	
有効性の評価	手段の最適化	ほぼ完了。
	職場の効率化	
	目的達成度	
総合評価	成果向上の可能性	市民参画度
	市民参画度	
	総合評価	

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

総合評価	コメント	評価区分
	災害が起きないように計画的な河川改修等の実施が必要である。	<A~E>
		B

今後の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する <input type="checkbox"/> 完了・統合
翌年度結果指標量①	4箇所
目標値	結果指標量②
成果指標量	100

改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果